



防災マップ 優秀賞受賞

防災マップ作成ネットワーク

浜松市の土地家屋調査士や社会保険労務士でつくる「防災マップ作成ネットワーク」が作った市街地の防災マップが、防災科学技術研究所主催のコンテストで優秀賞に選ばれた。地元住民と協力し、避難ルートや危険箇所などを分かりやすく示した。メンバーは「子どもの防災教育や避難訓練で役立ててほしい」と呼びかける。

(宿谷紀子)

浜松市中心部を対象に、インターネットの専用ソフトを使い、昨年六月から半年がかりで完成させた。

メンバーが実際に現地を歩き、危険箇所を確認。斜面崩落が起きる可能性のある場所などは写真を撮り、地図

危険箇所など分かりやすく

上で見られるようにした。その地点の標高や避難所までのルートも示した。地元住民と意見交換して最終的な地図を完成させた。

コンテストには、全国から七十七チームが参加。最優秀賞は逃したが、優秀賞八チームの中に入った。今後、防災マップはネット上で公開されるという。

ネットワーク代表で土地家屋調査士の佐藤隆晃さん(四三)は「実際に歩いてみると課題がたくさん見つかる。次は市内の別の場所でも作るなど、活動を続けていきたい」と話している。

優秀賞に選ばれた防災マップを示す佐藤代表(左)ら。浜松市内で